

秋田内陸線 新観光車両 「秋田縄文号」 登場！



●出発を記念し、テープカット



●お披露目には沿線の関係者が参加



●秋田縄文号 室内の様子



●秋田縄文号列車の側面のロゴ



●イラスト作成の鈴木一枝さんに感謝状



●秋田縄文号記念グッズ

2月11日、秋田内陸線阿仁合駅で秋田内陸線新観光車両のお披露目会が行われました。開会にあたり、阿仁合駅ホームで吉田裕幸社長は「新観光列車の秋田縄文号は、沿線にある六つの縄文遺跡の魅力、価値を一つの車両にまとめ、全国に例のないコンセプトの列車ができた。今後は、観光需要の回復や世界遺産登録へ向けた地域の機運向上やマイノリティの醸成のリード役として地域の元気づくりに貢献したい。鉄道ファン、縄文ファンに限らず長く広く愛される列車にしていきたい」と話していました。そのあと、新車両を前に駅ホームで関係者によるテープカットが行われ、続いて、新車両内で行われたセレモニーでは、来賓として津谷市長が「縄文号のコンセプトの一つ伊勢堂岱遺跡は、当市としても、縄文遺跡群として世界文化遺産の暫定リストから正式登録に向けて頑張っているところである。この縄文号の運行は大きな弾みとなる。樹氷鑑賞期間でもあり、皆さまには、新車両にぜひ乗ってもらいたい。皆さまの力で内陸線がいつまでも存続するよう頑張っていきたい」と話していました。

式典が終わると関係者による試乗会が行われ、車内のイラストをデザインした鈴木一枝さんに感謝状が贈呈されたほか、社員による車両デザインの説明を受けながら、阿仁合ー比立内間の雪の内陸線を楽しみました。新観光車両が走り出すと、沿線では試走の様子を撮影しようとカメラを構えるファンの姿が見られました。

新観光車両「秋田縄文号」は2月13日から毎月第2土曜日の急行列車として「笑EM」列車と連結運行しています。



青天に白く輝く薬師山 きらめく雪上を滑走!!



第13回北秋田市民スキー大会兼第65回北秋田学童スキー大会

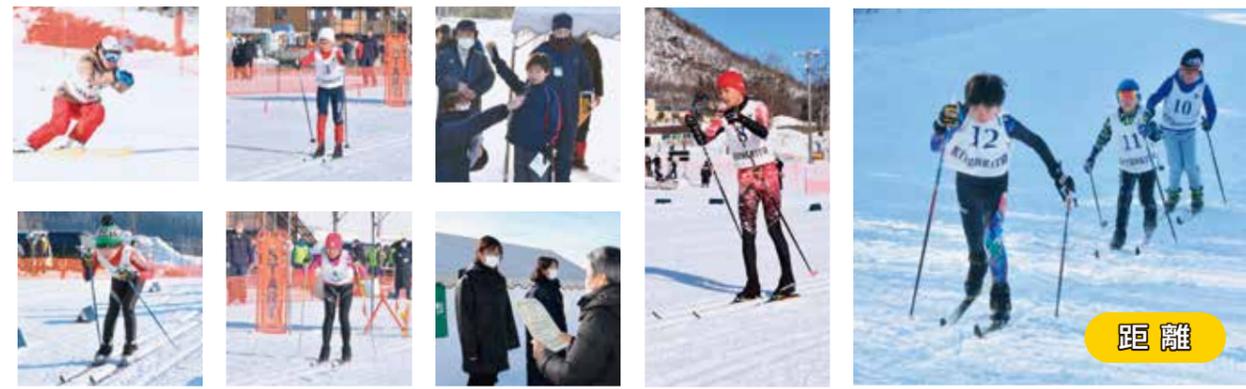
1月24日(日)、第13回北秋田市民スキー大会兼第65回北秋田学童スキー大会が薬師山を会場に開催され、市民、児童らが日ごろの練習の成果を発揮しました。

昨年の雪不足による中止等もあり、久々の大会となった当日は天候にも恵まれ、選手たちは声援を受けながら、白銀のコースを滑走し記録に挑みました。会場ではバナポート体験やバナポート体験も行われました。(※大会の成績等は市HPに掲載しています)



スノーボード

大回転



距離



バナナポート



バナポート体験